

都市再生整備計画事業 事後評価シート
木田駅周辺地区

令和8年2月

愛知県あま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	あま市		地区名	木田駅周辺地区			面積	77.7ha	
交付期間	令和3年度～令和7年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	1,611百万円	国費率	0.384			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	地下式調整池整備事業、市道木田駅前線整備事業、市道木田117号線整備事業、木田駅前駐輪場整備事業、多目的トイレ整備(バリアフリー対応)								
			提案事業	安全・安心設備事業(水路改修等)、事後評価分析業務、まちづくり協議会活動								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業		基幹事業	—								
			提案事業	—								
新たに追加した事業		基幹事業	—									
		提案事業	—									
交付期間の変更		当初	令和3年度～令和7年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	災害に対する不安の改善度	ポイント	3 (2.5)	R2	3 (2.7)	令和7年度	3 (3.3)	○	あり なし	地下式調整池整備及び幹線水路の改修により、地区内の排水機能が向上し、災害に対する不安の改善が確認できた。また、まちづくり協議会が毎年発行しているニュースレターや、協議会にて開催した工事見学会において、事業の整備状況を報告したことで、災害に対する不安の改善に寄与したと考えられる。	
	指標2	地区内の歩行者交通量	人/日	1,395	R2	2,040	令和7年度	2,001	△	あり なし	行き止まりとなっている市道木田駅前線の南伸整備等により、地区内の歩行者交通量は増加すると考えられる。また、台数不足により場外に自転車があふれている駐輪場の拡張整備により、更なる自転車利用が促進され、自転車・歩行者交通量が増加すると考えられる。	令和8年9月
指標3	まちづくり活動参加人数	人/年	30	R2	100	令和7年度	1,333	○	あり なし	まちづくり協議会活動において、地元行事と連携した駅前マルシェの実施や、地区の歴史・文化を伝えるパンフレット「きだのれきし」の作成により、木田駅周辺のまちづくりに関する興味・関心を持つ住民が増えたと考えられる。		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	にぎわいや地域活動の活発化に関する住民満足度	ポイント	3 (2.6)	R2			3 (3.0)			土地区画整理事業の宅地化により新住民が増加する中、まちづくり協議会活動において、駅前マルシェの実施やパンフレット「きだのれきし」の作成により、地区のにぎわい創出に係る意識醸成が図られたと考えられる。	
その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 駅前マルシェの実施により、今後の継続実施に向けた体制構築の機運が高まった。 パンフレット「きだのれきし」の作成において、まちづくり協議会を対象としたワークショップを開催したことで、地元住民が地区の歴史・文化を振り返り、新旧住民に守り伝える機会が生まれた。 											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	官民連携による取組状況	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築	新旧住民の交流によるにぎわい創出に向けた駅前マルシェ等のイベントの継続実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 地元の事業者から協賛金を募る形で資金を調達するなどして、にぎわい創出に向けた取組の継続実施を図る。	

様式2-2 地区の概要

木田駅周辺地区(愛知県あま市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	従前値	目標値
大目標:安全・安心とにぎわいを生む駅周辺のまちづくり	災害に対する不安の改善度	単位:ポイント	3 (2.5)	R2	3 (2.7)	R7	3 (3.3)	R7
目標1:誰もが安全・安心に生活できるまちづくり	地区内の歩行者交通量	単位:人/日	1,395	R2	2,040	R7	2,001	R7
目標2:駅を安心・快適に利用できるまちづくり	まちづくり活動参加人数	単位:人/年	30	R2	100	R7	1,333	R7
目標3:地域住民の交流によるにぎわいを生み出すまちづくり								

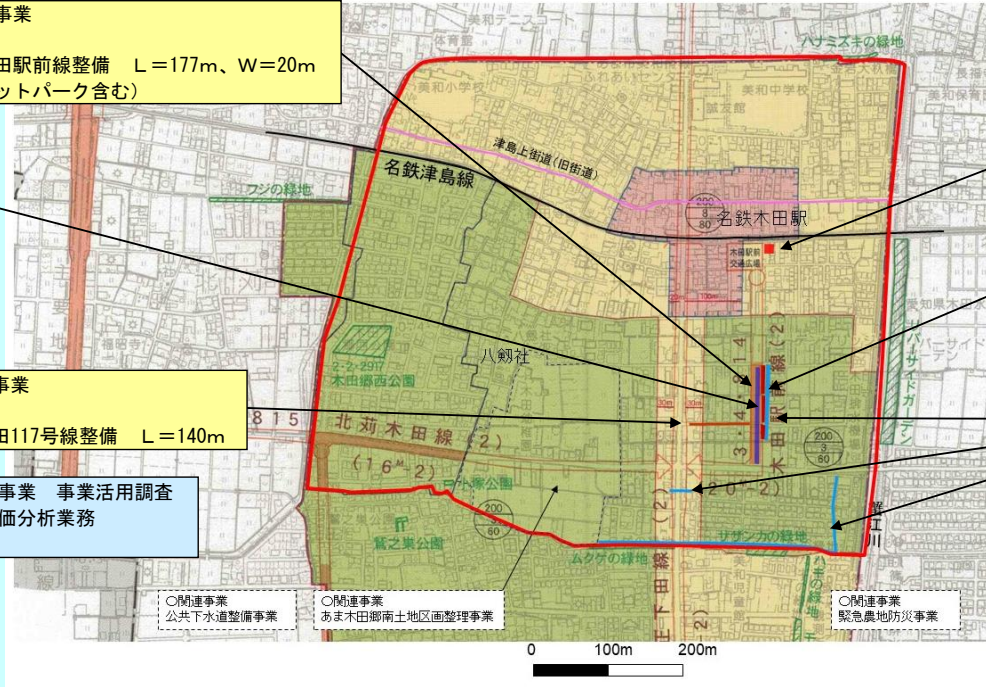
■基幹事業

地域生活基盤施設 (地域防災施設)
地下式調整池整備 V=2000m³



■基幹事業

道路
市道木田駅前線整備 L=177m、W=20m
(ポケットパーク含む)



N
1:10,000

■基幹事業

高質空間形成施設
多目的トイレ整備
(バリアフリー対応)

■基幹事業

地域生活基盤施設 (自転車駐車場)
駐輪場整備

□提案事業 地域創造支援事業

安全・安心施設事業
水路改修等



□提案事業 まちづくり活動推進事業

まちづくり協議会活動
木田区



■基幹事業

道路
市道木田117号線整備 L=140m

□提案事業 事業活用調査
事後評価分析業務
木田区

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

まちの課題の変化

- ・地下式調整池の整備及び雨水幹線水路の改修により、地区内における排水機能が向上した。
- ・市道木田駅前線の南伸整備等により、木田駅周辺における交通利便性や安全性が向上した。また、駐輪場の拡張整備により、既設駐輪場の台数不足が解消された。
- ・多目的トイレの整備により、駅前空間における快適性・利便性が向上した。
- ・まちづくり協議会活動において、地元行事と連携した駅前マルシェの実施や、地区の歴史・文化を伝えるパンフレット「きだのれきし」の作成により、木田駅周辺のまちづくりに関する興味・関心を持つ住民が増えた。
- ・地元住民等で構成される「木田地区まちおこし委員会」を新たに設立し、地元主体による駅前マルシェ等の継続実施に向けた組織体制を構築した。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・引き続き、安全・安心な生活環境づくりの実現に向けて、木田地区排水基本計画等に基づき、流出抑制や排水機能向上を検討する。
- ・地域防災力の強化に向け、市の防災講座等の活用を通じて住民の防災意識の向上を図り、自主防災団体が行う避難訓練等の取組への参加を促進する。
- ・市道木田駅前線への接続道路の整備や歩道整備等により、一層の安全性向上を図る。
- ・新たに設立した地元主体の組織が、地域と連携・協力しながら、今後も継続して駅前マルシェ等の木田駅周辺のにぎわい創出に向けたイベント開催や、パンフレット「きだのれきし」の活用等による歴史・文化の継承を実施していく。